

国連女性のエンパワメント原則 (WEPs) の展開と 女性の経済的エンパワメント・各国の取組

大西 祥世

はじめに

- 2020年度に取り組んだ研究
 - ・ WEPs の最新動向のフォローアップ (ウェビナーおよび年次会合参加)
 - ・ グローバル・コンパクト・ジャパン・ネットワーク WEPs 分科会サポーターとして、同分科会にて報告 (2020年7月10日)
 - ・ COVID-19 感染拡大の女性のエンパワメントへの影響への対応に関する調査
 - ・ 各国の女性の経済的エンパワメントの取組に関する調査

1 WEPs に関する動向

(1) 世界

- 署名企業数：4595社 (2021年3月1日現在)
(内訳：多い順) ブラジル 479社、トルコ 359社、日本 267社、中国 206社、インド 203社

(2) 国連

- Target Gender Equality の発足
 - ・ WEPs 会合の開催 (予定)：2021年3月16日 (於：ウェビナー)

- ウェビナーの開催

(3) 日本

- WE EMPOWER Japan、GCNJ『ハンドブック 女性のエンパワーメント原則』の発行 (2020年12月)

2 女性の経済的エンパワメントに関する各国の取組

- COVID-19 感染拡大の影響

おわりに——低経済成長社会における人権 CSR のさらなる可能性

- ダイバーシティ&インクルージョンの推進による、よりよい社会の実現
- 国家体制のゆらぎと「人権 CSR」
 - ・ 国家による人権保障の実現と限界
 - ・ 企業、政府、国際機関、市民社会、アカデミア
- 企業と政府の協働——政府による企業への義務づけと支援

[参考文献] 大西祥世「法の下での平等——ダイバーシティ&インクルージョンの推進」市川正人、倉田玲、小松浩編著『憲法問題のソリューション』(日本評論社、2021年)